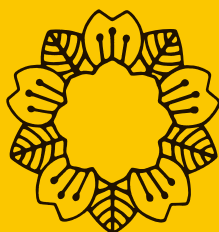


恵声会会報

～活動だより～

第29号



since 1904

Contents

恵声会主催演奏会について	3
石橋益恵先生記念コンサート	7
石橋益恵ピアノ奨学金について	8
支部だより	9
会員だより「窓」	12
恵声会本部活動報告	15
会計報告	16
恵声会役員	17
恵声会(音楽)支部および代表者名	17
編集後記	17

恵声会主催演奏会について

定期演奏会・新人演奏会について

昨年(2020年)に予定していた「恵声会定期演奏会」は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて中止となりました。「新人演奏会」を開催していた櫻樹祭も同様に中止となることが予想され、新人演奏会と定期演奏会合同の「恵声会演奏会」を開催することにいたしました。

コロナ禍の厳しい状況ではありましたが、感染対策を講じて開催できましたのも、皆さまのご協力のおかげと心から感謝しております。プログラムをご覧ください。

今後ともこれまでの「新人演奏会」と「定期演奏会」合同の演奏会を開催することを計画しております。2023年6月の開催を予定しております。

これからもたくさんの卒業生の方々に出演していただけますことを願って準備してまいります。2022年6月頃にお知らせできると存じますが、出演ご希望の方は恵声会ホームページをご覧ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

恵声会演奏会係一同

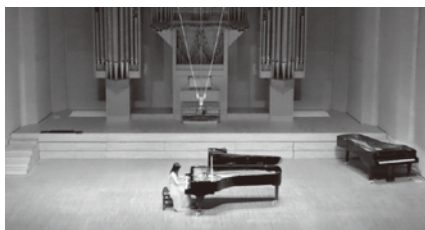
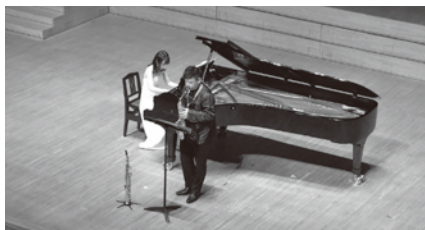
プティ・コンセールについて

2018年(平成30年)は櫻樹祭期間中の11月4日(日)にサロンコンサート形式で1507教室にて11:00~13:00、エオリアンホールにて14:30~15:40からコンサートを行いました。

サロンコンサートでは新卒業生のフレッシュな演奏や飛び入りの演奏もあり、来場者の方々に楽しんでいただきました。エオリアンホールのコンサートでは多くのお客様にホールならではの響きを堪能していただき、ラストの金管五重奏の間近で迫力のある演奏をお楽しみいただきました。

2019年(令和元年)は櫻樹祭期間中の11月3日1507教室にて開催致しました。浅香会長の司会進行で和やかなサロンコンサート形式にて卒業生の多彩な演奏が繰り広げられました。

尚、2020年2021年は新型コロナ感染拡大防止の観点から開催は見送られました。



第35回 定期演奏会

- 2018年6月9日(土)
- 14:00開場 14:30開演
- 上野学園 石橋メモリアルホール

■第一部

《合唱》

吉田 伸昭 (指揮) 賛助出演

小林 英之 (オルガン) 賛助出演

上野学園OB・OG合唱団

上野学園OB・OG管弦楽団

オラトリオ「メサイア」より“ハレルヤ”

／ G.F.ヘンデル

《ピアノ》

村田 融代

幻想曲 へ短調 Op.49／F.ショパン

《2台ピアノ》

I 石井美由紀

II 藤井 陽子

組曲 第2番 Op.17より 第4楽章“タランテラ”

／ S.ラフマニノフ

■第二部

《声楽》

平居みゆき (ソプラノ)

浅香 郁子 (ピアノ)

私は家をつくりたい／ G.ドニゼッティ

歌劇「アンナ・ボレーナ」より

“私の生まれたあのお城”／ G.ドニゼッティ

《二重唱》

丸山 央 (ソプラノ)

佐俣 薫 (ソプラノ)

齋藤 聡子 (ピアノ)

歌劇「カルメン」より

“何も恐れることはない”／ G.ビゼー

歌劇「コシ・ファン・トゥッテ」より

“私はあの栗色のほうがいいわ”

／ W.A.モーツァルト

歌劇「ロミオとジュリエット」より

“私は夢に生きたい”／ C.グノー

《ピアノ》

池平 仁史

ソナタ 第10番 Op.70 / A.スクリャービン

《ウインドオーケストラ》

彦坂眞一郎 (指揮) 賛助出演

上野学園OB・OGウインドオーケストラ

アルメニアン・ダンス パートI / A.リード

2021 恵声会演奏会

- 2021年6月12日(土)
- 14:30開場 15:00開演
- 上野学園 石橋メモリアルホール

■第一部

《ピアノ》

中島歌奈美

ピアノソナタ 第31番 変イ長調 Op.110より 終楽章

／ L.v.ベートーヴェン

肥後莉々香

喜びの島 / C.ドビュッシー

《フルート》

高野 七海

宮田 真央 (ピアノ)

アグレスティード Op.44 / E.ボザ

《2台ピアノ》

I 岩瀬 由佳

II 本谷 七海

2台ピアノのためのソナタ ニ長調 K.448より 第1楽章

／ W.A.モーツァルト

《二重奏》

清水ちひろ (ヴァイオリン)

丸尾 佳帆 (ヴィオラ)

パッサカリア / ヘンデル＝ハルヴォルセン

《フルート三重奏》

森澤 潤美

山崎巴瑠歌

毛見 朱里

笛吹きの休日 / J.カステレード

《ピアノ》

宮田 真央

バラード 第1番 ト短調 Op.23 / F.ショパン

《サクソフォン二重奏》

彦坂 僚太

磯野 桃子

高橋 優介 (ピアノ)

オーボエ、バスーンとピアノのための三重奏曲
/ F.プーランク

■第二部

《声楽》

牧野 華林 (ソプラノ)

小林千恵子 (ピアノ)

歌劇「エジプトのジュリオ・チャーザレ」より
“恋の矢はなつ瞳よ” “この胸に息のある限り”
/ G.F.ヘンデル

歌劇「コジ・ファン・トゥッテ」より
“岩のように動かずに” / W.A.モーツァルト

《声楽》

細沼 初美 (ソプラノ)

浅香 郁子 (ピアノ)

歌劇「アンドレア・シェニエ」より
“母もなく” / U.ジオルダノー

《2台ピアノ》

I 江澤加奈子

II 三神めぐみ

アンダルシア舞曲 第2曲、第3曲
/ M.インファンテ

《2台ピアノ》

I 佐藤あかり

II 藤井 成美

スカラムーシュ / D.ミヨー

《ピアノ》

中山 千晶

《無言歌集より》

“甘い思い出” Op.19-1

/ F.メンデルスゾーン

“ヴェニス Gondola の歌” Op.30-6

3つの幻想小曲集 Op.111 / R.シューマン

《声楽》

陰山 雅代 (ソプラノ)

石井扶美代 (ピアノ)

歌劇「運命の力」より

“神よ、平和を与えたまえ” / G.ヴェルディ

《フルート》

田村 珠美

浅香 郁子 (ピアノ)

フルートとピアノのためのソナタ Op.15

“パンの笛” / J.ムーケ

《サクソフォン》

崔 師碩

浅見 彩賀 (ピアノ)

台湾三見聞 / R.ブトリー

《声楽》

庄 智子 (ソプラノ)

石原 郁子 (ピアノ)

マッティナータ / R.レオンカヴァッロ

「6つの抒情詩 第二集」より “夜” / O.レスピーギ

歌劇「ヴィッリ」より

“もしお前たちのように小さな花だったら”

/ G.プッチーニ

2018 恵声会新人演奏会

- 2018年11月4日(日)
- 17:00開演
- 上野学園 石橋メモリアルホール

村田 悠果 (ピアノ)

浅見 彩賀 (ピアノ)

小組曲より

1. 小舟にて
 2. 行列
 4. バレエ
- ／ C.ドビュッシー

渡辺 由衣 (ピアノ)

巡礼の年 第2年「イタリア」S.161より

ベトラルカのソネット 第104番

／ F.リスト

今井 美佳 (ピアノ)

「伝説」S.175より 第2曲

波の上を渡るパオラの聖フランチェスコ

／ F.リスト

齋藤 亘代 (フルート)

佐藤 美晴 (フルート)

山崎巴瑠歌 (フルート)

田園組曲／ J.-M. ダマーズ

水島 大量 (ピアノ)

前奏曲 嬰ハ短調 Op.3-2

楽興の時 Op.16より 第4番

／ S.ラフマニノフ

児玉 エナ (メゾ・ソプラノ)

松野 海斗 (ピアノ)

歌劇「皇帝ティートの慈悲」より

“私は行くが、君は平和に”／ W.A.モーツァルト

赤とんぼ／ 山田 耕作

佐藤あかり (ピアノ)

藤井 成美 (ピアノ)

組曲第1番「幻想的絵画」Op.5より

2. 夜と愛と／ S.ラフマニノフ

藤田めぐみ (ピアノ)

三神めぐみ (ピアノ)

組曲「くるみ割り人形」Op.71aより

花のワルツ／ P.チャイコフスキー

2019 恵声会新人演奏会

- 2019年11月3日(日)
- 17:00開演
- 上野学園 石橋メモリアルホール

牧野 華林 (ソプラノ)

松野 海斗 (ピアノ)

サルビア／ 堀内幸枝・中田喜直

さくら横ちよう／ 加藤周一・中田喜直

歌劇「ドン・ジョヴァンニ」より

“酷い女ですって…おっしゃらないで恋しい人よ”

／ W.A.モーツァルト

森澤 潤美 (フルート)

無伴奏フルートのための12の幻想曲より

第2番 イ短調 第12番 ト短調

／ G.P.テレマン

山下 裕子 (オーボエ)

井上ゆう香 (ピアノ)

アダージョとアレグロ Op.70

／ R.シューマン

布施 詩織 (ピアノ)

6つの小品 Op.118より

2. 間奏曲 3. バラード

／ J.ブラームス

氏家彩弥乃 (ピアノ)

前奏曲とフーガ Op.35 第1番

／ F.メンデルスゾーン

川名 梓未 (フルート)

木津 萌香 (ピアノ)

フルートソナタより

第2楽章 アダージョ 第3楽章 スケルツァンド

／ O.タフタキシヴィリ

島村 光 (テューバ)

新山 茜 (ピアノ)

生きるべきか死ぬべきか／ H.トマジ

井上ゆう香 (ピアノ)

アレグロ Op.8 ロ短調

／ R.シューマン

江澤加奈子 (第1ピアノ)

三神めぐみ (第2ピアノ)

組曲第2番 Op.17より 4.「タランテラ」

／ S.ラフマニノフ

菅原 綾香 (第1ピアノ)

渡辺 由衣 (第2ピアノ)

アルメニア狂詩曲

／ A.アルチュニアン=A.ババジャニアン

石橋益恵先生記念コンサート

第25回石橋益恵先生記念コンサート

— 2017年度 国際コンクール受賞者による —

- 2018年2月28日(水) 午後3時30分開演
- 上野学園 石橋メモリアルホール
- 主催:学校法人 上野学園

- 《出演者》 中野 明香 (ピアノ) / 橋本 愛海 (ピアノ)
三山 友里 (ヴァイオリン) / 古賀小百合 (ピアノ) / 池平 仁史 (ピアノ)
- 《プログラム》 中野 明香 (ピアノ)
ベートーヴェン ピアノ・ソナタ 第32番 ハ短調 作品111より 第1楽章
ショパン バラード 第3番 変イ長調 作品47
- 橋本 愛海 (ピアノ)
ショパン ノクターン 第3番 ロ長調 作品9-3
シマノフスキ 変奏曲 変ロ短調 作品3
- 三山 友里 (ヴァイオリン) / 古賀小百合 (ピアノ)
シベリウス ヴァイオリン協奏曲 ニ短調 作品47 第1楽章
- 池平 仁史 (ピアノ)
リスト 巡礼の年 第2年「イタリア S.161/R.10-7 A55」より ダンテを読んでーソナタ風幻想曲

第26回石橋益恵先生記念コンサート

— 上野学園大学卒業生によるリサイタル —

- 2019年2月28日(木) 午後3時30分開演
- 上野学園 石橋メモリアルホール
- 主催:学校法人 上野学園

- 《出演者》 中山 千晶 (ピアノ) / 川又 明日香 (ヴァイオリン) / 伊藤 修子 (ピアノ)
- 《プログラム》 中山 千晶 (ピアノ)
メンデルスゾーン 《6つの前奏曲とフーガ》 作品35 より 第1番 前奏曲・フーガ ホ短調
プロコフィエフ ピアノ・ソナタ 第8番 変ロ長調 作品84「戦争ソナタ」
- 川又明日香 (ヴァイオリン) / 伊藤 修子 (ピアノ)
モーツァルト ヴァイオリン・ソナタ 第28番 ホ短調 K304
武満 徹 《11月の霧と菊の彼方から》
ラヴェル ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ト長調

第28回石橋益恵先生記念コンサート

- 2021年2月26日(金) 動画配信の形式で開催

- 《出演者》 小嶋 玲奈 (ハープ) / 多久和怜子 (フルート) / 東 祐輔 (ピアノ)
- 《プログラム》 小嶋 玲奈 (ハープ)
フォーレ 即興曲 作品86
- 多久和怜子 (フルート) / 小嶋 玲奈 (ハープ)
ロータ フルードとハープのためのソナタ
- 多久和怜子 (フルード) / 東 祐輔 (ピアノ)
アンデルセン バラードと空気の精の踊り
- 東 祐輔 (ピアノ)
ショパン 舟歌 作品60

※第27回は新型コロナウイルス感染拡大のため延期し、第28回として開催しました。



石橋 益恵ピアノ奨学金について

平成4年2月28日に逝去され、同3月12日、上野学園学園葬（音楽葬）をもって、ご逝去を悼んだ故・石橋益恵学園長先生の、音楽の教育と研究とに捧げられたご一生を偲び、その教育の理想実現をさらに追求するために設置されるものである。

先生ご自身がピアニストであり、ピアノ教育研究に特に強い意志と情熱をもたれたことにかんがみ、この奨学金はピアノ演奏、研究、教育に携わるものを対象とし、授与される。

さらに、具体的には、先生が音楽を中心に経営してこられた上野学園教育の一層の充実を図るため、その最高教育機関である大学音楽学部卒業生もしくは同音楽専攻科修了生を対象とすることとする。

「美しい音」の追究を、演奏者の「美しい人柄」にも求められた先生の理想を継承し、上野学園大学音楽学部卒業の恵声会会員に、研究・発表の機会を与え、さらに次の世代を育てる教育の場においてもこれが生かされ、音楽文化の発展と維持とに貢献し得ることを目的とするものである。

第18回 「石橋益恵ピアノ奨学金」受賞記念演奏会 安部まりあピアノ・リサイタル

- 平成30年3月4日(日)午後3時開演
- 上野学園 石橋メモリアルホール
- 主催 学校法人上野学園
- 後援 上野学園大学・同短期大学部恵声会

《プログラム》	J.S.バッハ	パルティータ 第5番 ト長調 BWV829
	ショパン	4つのマズルカ 作品41
	ドビュッシー	ベルガマスク組曲
	リスト	ピアノ・ソナタ 口短調 S.178

プロフィール	平成23年3月	上野学園大学音楽学部音楽学科演奏家コースピアノ専門卒業
	平成24年3月	上野学園大学音楽専攻科器楽専攻修了

第21回 「石橋益恵ピアノ奨学金」受賞記念演奏会 深貝理紗子ピアノ・リサイタル

- 平成30年9月15日(土)午後3時開演
- 上野学園 石橋メモリアルホール
- 主催 学校法人上野学園
- 後援 上野学園大学・同短期大学部恵声会

《プログラム》	J.S.バッハ	平均律クラヴィーア曲集 第1巻より 第23番 口長調 BWV868
	モーツァルト	ロンド ニ長調 K485
	ベートーヴェン	ピアノ・ソナタ 第26番 変ホ長調 作品81a「告別」
	ショパン	即興曲 第3番 変ト長調 作品51
		アンダンテ・スピアナートと華麗なる大ポロネーズ 作品22
	カーター	ピアノについての2つの考察より 第2曲〈懸垂線〉
	ドビュッシー	映像 第2集より第3曲〈金色の魚〉
		喜びの鳥
	プロコフィエフ	ピアノ・ソナタ 第6番 イ長調 作品82「戦争ソナタ」

プロフィール	平成26年3月	上野学園大学音楽学部音楽学科演奏家コースピアノ専門卒業
	平成27年3月	上野学園大学音楽専攻科器楽専攻修了

支部だより

2020年1月30日に予定していた「本部・支部連絡会議」は新型コロナウイルスの蔓延により中止されました。

2021年2月26日に本部・支部連絡会議がオンラインにて行われました。それぞれの折事前にご報告いただきました各支部のアンケートを元に「支部だより」としてご報告いたします。

北海道支部

支部長 橋本 邦江／今井 徳子

【2020年 橋本】

- ・毎年1月に新年会開催(会員の親睦を図るため)。
- ・毎年6月に恵声会北海道支部定期総会を開催している。
- ・今年は昨年以來懸案の会則を見直す計画がある。
- ・暫く中断していたコンサート開催を検討中である。

【2021年 今井】

昨年(2020年)の6月の定期総会と今年(2021年)1月の新年会、6月の定期総会はコロナの為中止致しました。

2022年4月、恵声会北海道支部主催のコンサートを開催予定。

宮城支部

支部長 松田 伸子

【2020年】

近いところだと2019年3月に「春の新人演奏会」を開きました。

2015年3月「春の新人演奏会」

2016年11月「秋の新人演奏会」卒業生を迎えて開いております。

【2021年】

2020年、2021年とコロナ禍のため、支部としての活動が残念ながら止まっています。

本来ならば2019年に続いて2021年に東北3県(岩手、福島、宮城)で合同演奏会を開く予定でした。2022年には集まりを持ちなるべく早く計画したいと考えております。

青森支部

支部長 野呂 榮子

【2021年】

会員が集まらないので、支部の活動は出来てません。

岩手支部

支部長 柴野 千砂

【2020年】

昨年夏郡山でのリコーダーコンサートに岩手支部初代支部長の石川先生と柴野で伺い、福島の方、宮城支部の方々との交流も深まりそのご縁もあり、来春は東北三県合同演奏会の運びとなりました。

【2021年】

コロナ禍で動きの取れない2年でした。その中で来春(2022年)音楽科の高校生の方々が仙台でコンサートをされるとの事で、数名ではありますが岩手からも出掛け東北の会員の皆様とお会いできる事を今から楽しみにしている処です。

福島支部

支部長 高萩 千津

【2021年】

活動と言える事はありませんが、恵声会の会員同士で連絡を取り合い話し合う程度です。

今年は話し合いの場が持てず、コロナ収束後に改めて活動の場が持てればと思っています。

群馬支部

支部長 甲本 順子

【2020年】

支部長が私(甲本)になってからは、毎年1月第3日曜日に支部総会を開催、総会後懇親会を実施。総会後2月には全支部会員に総会報告、会計報告、大学の年間行事等の連絡を送付。

平成30年には初めて支部会員によるコンサートを実施。

令和2年2月には母校見学会とオルガンレクチャーを予定。

【2021年】

毎年総会を1月第3日曜日に行ってきたが、本年は

コロナ感染予防のため中止。

2020年2月16日 小林英之先生によるオルガンレクチャー母校見学会を開催。

2020年8月30日 山崎紫乃先生によるピアノ体験レッスンを県内で予定していたが、中止(コロナの為)。

会員でピアニストの根岸美奈子さんは2020年夏にDVDを出されました。バリトン歌手のドイツ歌曲の伴奏者として参加されています。DVDタイトルは“In wunderbar süßen stand”、又2021年10月には地元でモーツァルトピアノ協奏曲管弦楽団と共演される予定です。他にも会員の方々は、コロナ禍の中でも元気で活動、活躍されています。

茨城支部

支部長 佐藤美和子

【2020年】

これまで不定期で研修会等を実施していましたが、コロナ禍のため活動ができませんでした。

役員会で支部会員への連絡方法のIT化を計画することを同意確認致しました。

【2021年】

不定期で研修会、懇親会をしておりましたが昨年はコロナの為できませんでした。

役員会では、音楽の裾野を広げるための活動計画を同意確認し、未来に向けての活動の具体策を考察しました。

千葉支部

支部長 田澤 晴美

【2020年】

隔年で会報を発行と年に1~2回研修会や演奏会、公開レッスンなどを行っています。

【2021年】

会報は隔年で発行しております。

2020年10月に支部会報第18号発行。

千葉県在住の新卒者へ支部への入会案内を送付。

総会は隔年で2021年6月20日に船橋勤労センターにて行いました。またコロナで延期となっておりますボディパーカッションの研修会は保留中ですが、2022年1月に下田幸二氏によるショパン講座を開催致します。

埼玉支部

支部長 久下 礼子

【2020年】

昭和60年(1985年)5月に発足しました。

・総会はこれまでに9回開催(第9回は2019年4月)

・演奏会は昭和61年の第1回から18回開催。平成17・30年は石橋メモリアルホールにて、その他はミニコンサートとしてエオリアンホールをはじめ、埼玉県内のホールにて開催。

・研修会はこれまで24回、大学の教授による講座、公開レッスンを中心に開催。終了後は親睦会を行う。

・会報は年1回発行。2019年、第33号を発行。

【2021年】

昨年はコロナ禍でやむを得ずすべての活動を休止しましたが、それまでは毎年会報の発行と研修会(終了後に懇親会開催)、そして秋にはミニコンサートを開催しております。今年度は9月5日(日)エオリアンホールにてミニコンサート開催予定で準備を進めております。

東京支部

支部長 中島 純子

【2020年】

・毎年の総会を含め、年3~4回の幹事会。

・2019年8月25日(ヤマハホールにて)支部15周年記念コンサート開催。

【2021年】

①総会(年に一度)。

②幹事会(年に2~3回)。昨年はコロナの為1回の幹事会。

神奈川支部

支部長 加島 薫

【2020年】

コロナ禍の為、全活動を中止としました。またそれに伴い会費の徴収も見合わせる旨の書面を全会員に送付致しました。

【2021年】

本年もコロナ禍により活動を中止しておりますが、今後についての幹事会を開催予定です。

【2020年】

毎年懇親会を計画、その折に研修会も行いましたが、音楽活動から離れている人は、それが口実になり、出席されないこともあり、難しさを感じました。今後は、それにこだわらないで、出来ることを考慮することが必要かと感じております。昨年は卒業生(大学)の読売新人演奏会に会員の方の協力も得ることが出来ました(名古屋でしたが)。

【2021年】

毎年1回支部会を開催することを決定していましたが、コロナで休会しております。

昨年卒業生が新人演奏会に出演しましたので、支部の人たちの協力が得られました。

今は個人情報保護もあり電話番号を知らせない方もありますが、ご自分の現状や活動をスマホに送って下さる人もいます。いろいろですが静かに現状を見守っていきたいと思っています。

【2020年】

毎年懇親会と勉強会としてコンサートをしております(連絡の取れる方4～5名で)

昨年は2019年11月23日に「プチ・コンセール」を岡山(私の自宅サロン)にて行いました。

2016年より隔年で同級生のピアニスト活動をしている稲井倫子さんのソロリサイタルを開いております。

今年も3月1日に自宅のサロンにて開催予定です(コロナウィルス感染拡大防止の為、2020年10月25日に延期致しました)。

【2021年】

昨年はコロナ禍の為、開催できませんでしたが、8年位前から毎年「プチ・コンセール」として4～5名の会員が集まり、各々が練習してきた曲を弾き合うコンサートと懇親会をしております。私が支部長を引き継ぎさせて頂いてからは、私の自宅のピアノ教室のサロンで「プチ・コンセール」をしております。2021年11月7日に開催予定です。

また、隔年で大学平成6年卒の稲井倫子さんのピアノソロコンサートを中国支部で後援し、3回開催しました。

【2020年】

年3回の研修会+懇親会はずっと続けています。

一昨年より県の重要文化財の萬翠荘の一室で旅行客にも自由に聴いて頂けるミニコンサートを開催しています。

あとは各会員の演奏会に足を運ぶよう声かけしています。

今までは支部長からの一斉メールでしたが、グループラインを作り、皆で情報を共有しています。

【2021年】

2021年はコロナ禍で会食を伴う懇親会を開くことはできませんでしたが、6月20日に萬翠荘でミニコンサートを開催しました。出席できなかった会員にもラインで様子を知らせました。

会員の出演するコンサートの案内をしたり、近況を知らせ合ったり、今までよりお互い身近に感じています。

【2020年】

担当が広すぎて活動不能

【2021年】

特になし

本部・支部連絡会議

令和2年度(2021年)2月26日(金)13:30～15:30
オンラインにて行われました。

■出席者

【学園】 前田 昭雄 大学長・恵声会 名誉会長

【本部】 浅香 郁子 会長 段田 尚子 副会長

吉田 真知子 監事

【本部運営委員】 鈴木 圭子 伊藤 久恵 藤井 陽子

庄 智子 榎本 二実子 倉重 恵

白井 雅子 木津 萌香 根岸 奏好

【支部】 今井 徳子(北海道代理)

松田 伸子(宮城支部長)

甲本 順子(群馬支部長)

佐藤 美和子(茨城支部長)

吉田 真知子(埼玉支部代理)

土屋 和江(岐阜支部長)

竹内 和江(愛媛支部代理)

会員だより「窓」

毎年開催されている櫻樹祭プログラムの中の「窓」というコーナーにて、活躍されている卒業生を紹介しております。今号において2018年から2021年までの掲載記事をご紹介します。(2020年は櫻樹祭が中止されたため掲載はありません)

●2018年掲載 上村かおりさん

いつも前のめりで歩いていた。
ある時学長先生にぶつかりそうになった時には、「あなた、いつも元気そうね」と言われたが、それはかついでいる楽器、ヴィオラ・ダ・ガンバが重くて、早く目的地に着いてしまいたい、という一心だった。

しかし考えてみると、まだ楽器を持っていなかった随分前から早歩きで、階段を2段ぬかして上り下りしていたのだ。

そしてその早歩きのまま、足下をあまり見ずにベルギーまで来た。のんびり友人と散歩をしているときでも、頭の中は何十年か後の自分に期待して早歩きだったと言える。

そうだ、わたしは読んで字のごとく未だ来ぬ「いつか」に向かってせっせと早歩きしていたのだ。自分のあるべき姿は、今の自分ではなく、いるべき場所は、今いる場所ではない、と。

だから、どんな失敗もあまり気にならなかった。何しろこれは本当の自分の失敗ではない。本当の自分は完璧な「いつか」に在るのだから。学生だったわたしは、それゆえに、ずんずんと歩みも止めず、迫力があるように思われていたと思う。自信があるかないかなど、問題ではない。なにしろ仮のわたしが、いつか来る自分のために奉仕しているんだもの。

ところが、ある日ふと気がついた。あれ？上野学園で考えていた、いつかこの曲はすごく上手に弾けるようになっていだろう、という同じ文章が頭の中でテロップのように数十年経った今も流れている。あの頃、50才と言えば未来社会の人のように思っていたが、なんとその遥か遠かった年齢を超えているではないか！このままでは、自分が納得する演奏する頃には100才になってしまう。

遅まきながら、頭の中の自分と現実とに生きている自分を一致させていなかったことに気づいた。今、息をしているわたしこそが、本当の私のんだ。そこから急テンポで今の自分を受け入れるメンタル・トレーニングが始まった。

考えてみれば、楽器の練習をすればするほど、そして経験を積むほどに自分のアイディアもどんどん

変わって行くのだから、すごくいい演奏ができるようになっているに違いないと言ったって、その演奏に対する価値観もどんどん変わっているのだ。だから、「はず」の演奏は、実は幻であった。昨日の演奏は今日と同じではない。同じ訳がないのだ。なにしろ昨日の自分はもう過去の自分で、明日の自分はまだ未知だ。今の自分しか存在しないのだから。

その発見とそれを受け入れる過程は、わたしにとって、人生の大きな山だった。人生ががらりと崩れ落ちるような恐れやそれを乗り越える努力を伴ったが、生きるとは、そして自分を信じるとはどういうことかを、演奏を通して教えてもらったと思う。

あの若き日々、現実と幻想が入り交じっていたわたしだったが、上野学園にはひとりひとりの居場所が確実にあり、心ここに有らずのわたしも友人に恵まれ、先生方にも大事にして頂いた。どの生徒にもそこにいる価値があるという、個が大事にされる学校だったと思う。

そして、ようやく自分の居場所は自分の中にあり、今いる場所が最適な場であるとわかった今、再び上野学園の先生方や友人たちに助けられて、ガンバには最高の響きであるメモリアルホールで演奏できるご縁に、驚く。

フランス語に、嬉しい驚き、という表現がある。有り難いことが起こっている時などに使う。

ありがとう！嬉しく驚いています。

略歴

- 上野学園大学音楽学部器楽学科ヴィオラ・ダ・ガンバ専門、及びブリュッセル王立音楽院を首席で卒業。
- ヴィオラ・ダ・ガンバを故・大橋敏成、ヴィーラント・クイケン各氏に、また演奏法をミッシェル・マツシーナ氏に師事。これまでに、ベルギー、フランスを拠点とし、リachelカール・コンソート、レザール・フロリッサン、レ・タラン・リリック、またオランダのバッハ協会などと共演、アンサンブル奏者として仲間からの信頼も厚い。また、バッハのカンタータや受難曲のガンバソロに招かれるなど、ヨーロッパの第一線で活躍している。

●2019年掲載 田中せい子さん

リコーダーを始めて45年、奏者になって30年以上が経った。今だにこの楽器とともに生きていることを不思議に思うこともある。

小学6年の時上野学園をピアノ科で受験することを目標に講習に通った。鍵盤は4歳から習っていたが、何となく堅苦しいイメージがあり、自分から率先して練習する子供ではなかった。ソプラノリコーダーで好きなアニメソングをピーピー吹いているのが楽しかった。講習ではピアノの先生に大いに喝を入れられ、その数日間は何ものすごいやる気を出してがんばれたが、終わるとまた元のゆる～い気持ちに戻り、アニメソングを吹いていた。直感的にピアノは向いていない、と悟ったのだろう。両親に、リコーダーでなら音楽学校に行ってもいい。と言いい、早速リコーダーの先生を探してもらった。

多田逸郎先生に初めてお会いしたのは小学6年の夏休み、先生のお宅に伺い「ドナドナ」(!)を吹いた。ドイツ帰りの先生は子供にはとても近寄りたがたい印象で、お声にも威厳があった。「ハー(H)の音を出して。」と先生に言われてもドイツ音名を知らない私は「ハァ?」みたいな反応で、先生とのあまりのギャップの大きさにうろたえてしまった。

その頃はリコーダーが古楽器であることも、ルネサンス、バロック音楽があることも知らず、上野学園に入って初めてリコーダーという楽器の歴史やレパートリーを知ることになる。多田先生は常に厳肅な雰囲気でもとても厳しい面もあったが、同時に慈愛に満ち溢れた方であった。先生にはリコーダーや古楽というより、リズムや音程などの音楽の基礎を叩き込んで頂いた。昨年ご逝去され、私は心の中の柱を一本抜かれたような気持ちでいる。

大学に入り、古楽のメッカ、オランダで学ばれた先生方が上野学園で教え始めたことは私にとってものすごい刺激となった。1980年台前半バブルの絶頂期。学校も、先生方も、そして学生の私達も、大きなエネルギーと、とてもポジティブな未来を感じながら前進していたように思う。チェンバロ、ヴィオラ・ダ・ガンバ、オルガン等アンサンブルできる仲間も多く、本当に楽しく充実した時間を過ごすことができた。この時期の学びが大切な土台になっていることは留学時代に何度も痛感した。

アニメソングをゆるく吹いていた自分がどうしてリコーダー奏者になったのか?よく考えてみると自分の性質がリコーダーという楽器にぴったり合っているところがその理由ではないかと思う。歴史的な

演奏解釈や異なるモデルなど、リコーダーにもかなり奥深い分野があるが、私にはそんなことよりも、子供の時と変わらない、シンプルな息で楽器が鳴ってくれる時の快感と喜びが一番なのだ。

リコーダーに息を入れること、それは私にとって食べたり寝たりすることと同じくらい必須で、生きることの一部分となってしまったようだ。

略歴

- 上野学園中学、高校音楽科(リコーダー)、同大学音楽学部器楽学科リコーダー専門卒業。
- リコーダーを島田暁子、故・多田逸郎、山岡重治に師事。
- 1986年よりアムステルダム・スヴェーリンク音楽院にてリコーダーをW.ファンハウヴェに師事。
- 教授者及び演奏家ディプロマを取得し1993年同音楽院を卒業。在学中よりヨーロッパ各地及び日本にて演奏活等を行う。
- 1997年よりイタリア在住。上野学園大学講師、ヴァレーゼ市立音楽院、ミラノ音楽院リコーダー科講師を務めた。
- 東京、ミラノ両都市にて「ストゥディオ・フォンテガウラ」を設立、両国を行き来しながら数多くのセミナー、コンサートを企画している。
- 2018年にはヨーロッパを代表するリコーダー奏者 ケース・ブッケ、ヴァルター・ファンハウヴェ、ダニエレ・ブラジュッティとともにリコーダー4重奏団「オリブ・コンソート」を結成。

上村かおりさん(ベルギー在住)と
田中せい子さん(イタリア在住)の
お二人は、ヨーロッパでの
恵声会活動のサポートを
してくださっています。

●2021年掲載 多久和怜子さん

私は現在フリーランスの奏者として、主にオーケストラのエキストラで活動しています。

学生時代はほぼ毎週下野竜也先生の指揮でオーケストラの授業があり、各パートには現役のオーケストラプレイヤーの先生が隣で指導、ご助言をくださる大変贅沢な環境で勉強できました。フルートパートは当時東京都交響楽団に在籍の野口博司先生が、オーケストラの中での演奏の方法や替え指など、そして裏技のような知識もたくさん教えて下さいました。そんな環境で研鑽を積み込むにますますオーケストラが大好きになり、この道に進む事を決め、これまで活動してきました。

ところがこれまでのエキストラとしての生活も昨年のコロナ禍で一気に変わってしまいました。昨年4月の緊急事態宣言が発令されてから次々と公演が中止になり、あっという間に手帳の予定は真っ白になりました。この先の生活への不安と、新型コロナウイルスに対する恐怖で、心理的に厳しい日々が続きましたが、そこから私を救ってくれたのはソロリサイタルという目標でした。

学生の時から憧れの舞台であった、東京オペラシティ主催のリサイタルシリーズ「B→C(ビートゥーシー)」が10月に控えていたからです。私はコンクール優勝歴も海外留学経験ありませんし、オーケストラの正団員でもありません。そのような私がこのリサイタルに出演できることは、本当に奇跡に思えました。

この舞台はこれまでの私の総決算であり、B(バッハ)→C(コンテンポラリー)ならではのプログラムを考え、今までに演奏したことのない新しい曲と、編曲した弦楽器の作品で臨みました。聴きに来て下さる皆様に私の作品への思いを伝えられるか、不安もありました。入場制限、感染予防対策等、慣れない状況での生の演奏会、会場はこれまで経験したことのないような張り詰めた緊張感を感じましたが、演奏を始めると、一音一音が聴衆の皆さんの心に吸い込まれるようでした。学生時代から、素晴らしい音響の石橋メモリアルホールで、試験や演奏会を経験させていただいたことと、中学生の時から、ステージマナーが自然と身につくようにご指導頂いたお陰で、自信がついていたのかもしれない。

リサイタルは心強い共演者に助けられて、お客様から温かい拍手をいただきました。音楽は人と人を繋ぐものなんだという当たり前のことを、これほど

感じた夜はありませんでした。

振り返ってみると、苦しみも喜びも沢山味わった、忘れ難い一年でした。この経験を今後活かせたらと日々精進しております。

略歴

- 上野学園中学、高校音楽科、同大学演奏家コース卒業。桐朋学園大学研究科修了。上野学園大学卒業演奏会、第81回読売新人演奏会、第38回フルートデビューリサイタルに出演。
- 小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトXI、サイトウ・キネン・フェスティバル松本「青少年のためのオペラ」に参加。田中千香士音楽祭に出演。2014年より北九州国際音楽祭マイスター・アールト×ライジングスターオーケストラのメンバーとして出演。2017年舞台芸術創造事業夏目漱石生誕150年記念／東京文化会館・Japan Society(ニューヨーク)国際共同制作、夏目漱石原作「夢十夜」の室内オペラ「Four Nights of Dream」でNY、東京公演(日本初演)に参加。
- 東京文化会館主催モーニングコンサート、NHK FM「リサイタル・パッショ」、東京オペラシティリサイタルシリーズ「B→C」に出演。
- 第14回日本フルートコンヴェンションコンクールソロ部門 第3位。
- 第29回日本管打楽器コンクール第3位。
- 第11回東京音楽コンクール木管部門第2位。
- 第82回日本音楽コンクール第2位。
- 日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団と共演。
- これまでにフルートを故・野口龍、段田尚子、倉田優の各氏に、ピッコロを片爪大輔氏に、室内楽を佐々木祐子、原田禎夫、吉野直子、猶井正幸の各氏に師事。
- 現在、国内オーケストラ、吹奏楽団の客演を務める他、ソロ、室内楽等で活動。

恵声会本部活動報告

①会議開催

平成30年度／2018年

- 4月5日(木) 幹事会(新年度顔合わせ)
- 5月24日(木) 幹事総会(新幹事を迎えて)
- 7月5日(木) 運営委員会(新役員顔合わせ)
- 9月21日(金) 運営委員会
- 11月9日(金) 運営委員会
- 2月8日(金) 運営委員会

令和元年度／2019年

- 4月4日(木) 幹事会(新年度顔合わせ)
- 5月23日(木) 幹事総会(新幹事を迎えて)
- 6月27日(木) 運営委員会(新役員顔合わせ)
- 9月12日(木) 運営委員会
- 11月14日(木) 運営委員会
- 1月30日(木) 運営委員会
- 2月13日(木) 臨時委員会
- ★2月28日(金) 本部支部連絡会議 新型コロナウイルスの影響で中止

令和2年度／2020年

- 4月4日(土) 幹事会(新年度顔合わせ)→中止
- 5月23日(土) 幹事総会→延期
- 6月25日(木) 運営委員会
- 7月20日(月) 幹事総会オンラインで開催
- 8月26日(水) 運営委員会
- 12月3日(木) 運営委員会
- 2月18日(木) 運営委員会
- 2月26日(金) 本部支部連絡会議オンラインにて開催

②演奏会

平成30年度／2018年

- 6月9日(土) 第35回定期演奏会(主催)
- 11月4日(日) 新人演奏会(平成27・28・29年卒業の会員) 櫻樹祭の中で開催
プティ・コンセール(櫻樹祭の中で開催)

令和元年／2019年

- 11月3日(日) 新人演奏会(平成28・29・30卒業の会員)
プティ・コンセールとともに櫻樹祭の中で開催

令和2年／2020年

- 6月13日(土) 第36回定期演奏会→11月1日に延期→
令和3年6月12日に「恵声会演奏会」として延期
新型コロナウイルス感染防止のため櫻樹祭の開催中止
新人演奏会、プティ・コンセール開催中止

令和3年／2021年

- 6月12日(土) 「恵声会演奏会」開催
プティ・コンセール開催中止

③その他

平成29年度／2017年

- 3月17日(金) 大学・同短期大学部の新卒業生に恵声会卒業案内カードと記念品贈呈

平成30年度／2018年

- 3月17日(土) 大学・同短期大学部の新卒業生に恵声会卒業案内カードと記念品贈呈

令和元年度／2019年

- 3月17日(火) 大学・同短期大学部の新卒業生に恵声会卒業案内カードと記念品贈呈

令和2年度／2020年

- 3月17日(水) 大学・同短期大学部の新卒業生に恵声会卒業案内カードと記念品贈呈

④発送物

令和2年度／2020年

- 9月25日(金) 全卒業生に向けて「大学募集停止のお知らせ」発送(6676通)

会計報告

平成29年度

◆収入の部	繰越金	155,500
	経常費	720,000
	通信連絡費(返金)	53,413
	合計	¥928,913

◆支出の部	支部費	240,000
	慶弔費	109,576
	運営費	200,000
	例会費	18,144
	演奏会費(定期演奏会費)	50,000
	演奏会費(新人演奏会費)	40,000
	通信連絡費	44,030
	印刷費	52,513
	雑費	324
	合計	¥754,587

次年度繰越金 ¥174,326

恵声会会費残高 ¥15,056,465 (平成30年3月31日 現在)
(平成28年度卒業生会費 2,189,400円、利息138円 含む)
以上報告いたします。

平成30年3月31日 会計 政岡 知恵子
伊丹 唯

◎監査の結果、上記の通り相違ありません。

平成30年5月19日 会計監査 吉田 眞知子
伊藤 久恵

平成31年度(令和元年度)

◆収入の部	繰越金	17,815
	経常費	960,000
	合計	¥977,815

◆支出の部	支部費	220,000
	慶弔費	90,000
	運営費	200,000
	例会費	18,577
	演奏会費(定期演奏会費)	50,000
	演奏会費(新人演奏会費)	40,000
	HP負担金	5,400
	通信連絡費	49,379
	印刷費	53,174
	雑費	1,320
	合計	¥727,850

次年度繰越金 ¥249,965

恵声会会費残高 ¥13,333,032 (令和2年3月31日現在)
(利息136円 含む)

以上報告いたします。

令和2年3月31日 会計 伊丹 唯
政岡 知恵子
浅井 愛

◎監査の結果、上記の通り相違ありません。

令和2年6月18日 会計監査 吉田 眞知子
伊藤 久恵

平成30年度

◆収入の部	繰越金	174,326
	経常費	2,595,603
	合計	¥2,769,929

◆支出の部	支部費	200,000
	慶弔費	199,332
	運営費	200,000
	例会費	21,114
	演奏会費(定期演奏会費)	50,000
	演奏会費(新人演奏会費)	40,000
	通信連絡費	38,757
	印刷費	115,472
	会報印刷費	1,664,103
	HP負担金	220,636
	雑費	2,700
	合計	¥2,752,114

次年度繰越金 ¥17,815

恵声会会費残高 ¥14,292,896 (平成31年3月31日 現在)
(平成29年度卒業生会費 1,831,900円、利息134円 含む)
以上報告いたします。

平成31年3月31日 会計 政岡 知恵子
伊丹 唯

◎監査の結果、上記の通り相違ありません。

令和元年5月18日 会計監査 吉田 眞知子
伊藤 久恵

令和2年度

◆収入の部	繰越金	249,965
	経常費	1,378,740
	合計	¥1,628,705

◆支出の部	支部費	220,000
	慶弔費	71,610
	運営費	200,000
	演奏会費(定期・新人演奏会費)	90,000
	通信連絡費	823,142
	印刷費	19,768
	雑費	1,100
	合計	¥1,425,620

次年度繰越金 ¥203,085

恵声会会費残高 ¥17,367,255 (令和3年3月31日現在)
(平成30年度卒業生会費1,969,400円、
令和元年度卒業生会費1,790,000円、
令和2年度卒業生会費1,653,400円、利息163円 含む)
以上報告いたします。

令和3年3月31日 会計 伊丹 唯
政岡 知恵子
浅井 愛

◎監査の結果、上記の通り相違ありません。

令和3年5月20日 会計監査 吉田 眞知子
伊藤 久恵

恵声会役員

平成29・30年度

会 長	庄 智子	
副会長	白井 雅子	
監 事	吉田眞知子	浅香 郁子
	(責任者)	(運営委員)
書 記	根岸 奏好	浅井 愛
会 計	政岡知恵子	伊丹 唯
会 報	段田 尚子	安部可菜子
名 簿	菊池 由佳	久保万里子
音楽会 定 期	藤井 陽子	鈴木 圭子
新 人	山下 百恵	片倉みな美
通信連絡	井田 美幸	長谷川三千子
ホームページ	伊藤 久恵	榎本二実子
櫻樹祭プログラム「窓」	石井み予乃	

※役員の任期は2年

令和元年・2年度

会 長	浅香 郁子	
副会長	段田 尚子	
監 事	吉田眞知子	伊藤 久恵
	(責任者)	(運営委員)
書 記	庄 智子	
会 計	伊丹 唯	政岡知恵子
演奏会 定 期	藤井 陽子	鈴木 圭子
新 人	倉重 恵	矢ノ倉あや
名 簿	白井 雅子	庄 智子
通信連絡	井田 美幸	長谷川三千子
広 報	安部可菜子	白井 雅子
ホームページ	根岸 奏好	榎本二実子
櫻樹祭プログラム「窓」	石井み予乃	

※役員の任期は2年

令和3年・4年度

会 長	浅香 郁子	
副会長	段田 尚子	
監 事	吉田眞知子	伊藤 久恵
	(責任者)	(運営委員)
書 記	庄 智子	
会 計	浅井 愛	政岡知恵子
演奏会	矢ノ倉 あや	藤井 陽子
		鈴木 圭子
名 簿	白井 雅子	岩瀬 愛優
通信連絡	長谷川三千子	庄 智子
広 報	浅香 郁子	菊池 由佳
ホームページ	根岸 奏好	
櫻樹祭プログラム「窓」	石井み予乃	

※役員の任期は2年

恵声会(音楽)支部および代表者名

支部名	代表者
北海道支部	今井 徳子
青森支部	野呂 榮子
岩手支部	柴野 千砂
宮城支部	松田 伸子
福島支部	高萩 千津
群馬支部	甲本 順子
茨城支部	佐藤美和子
千葉支部	田澤 晴美
埼玉支部	久下 礼子
東京支部	中島 純子
神奈川支部	加島 薫
愛知支部	宮田 康子
岐阜支部	土屋 和江
三重支部	廣地 淑子
関西支部	本部にお問い合わせください
石川支部	劔崎知紗子
中国支部	田淵 礼子
九州支部	香川美穂子
愛媛支部	田附 里英
香川支部	高尾 啓子
栃木支部	本部にお問い合わせください

編 集 後 記

新型コロナウイルスの影響で、音楽を取り巻く環境に大きな影響がでました。皆さまの活動にも様々な影響があったことと思います。今回は、少しコンパクトに会報を作成いたしました。

お寄せいただいた各支部の支部長様、ご尽力くださった多くの皆さまにご協力いただきまして第29号を発行することができました。心からお礼申し上げます。今後は、時代に合わせて「デジタルパンフレット」の検討もしております。よろしくお願いします。

会員の皆さまのご活躍とご健勝を心から祈念しております。

会長 浅香 郁子

■学園職員ご逝去 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- 2018.8.7 永田 穂 名誉客員教授(音響理学)
音楽文化研究センター名誉センター長
2018.11.21 ヨセフ・モルナール 名誉教授(ハーブ)
2021.1.27 藤井孝子 特任教授(ピアノ)
2021.10.9 野口 龍 客員教授(フルート)

